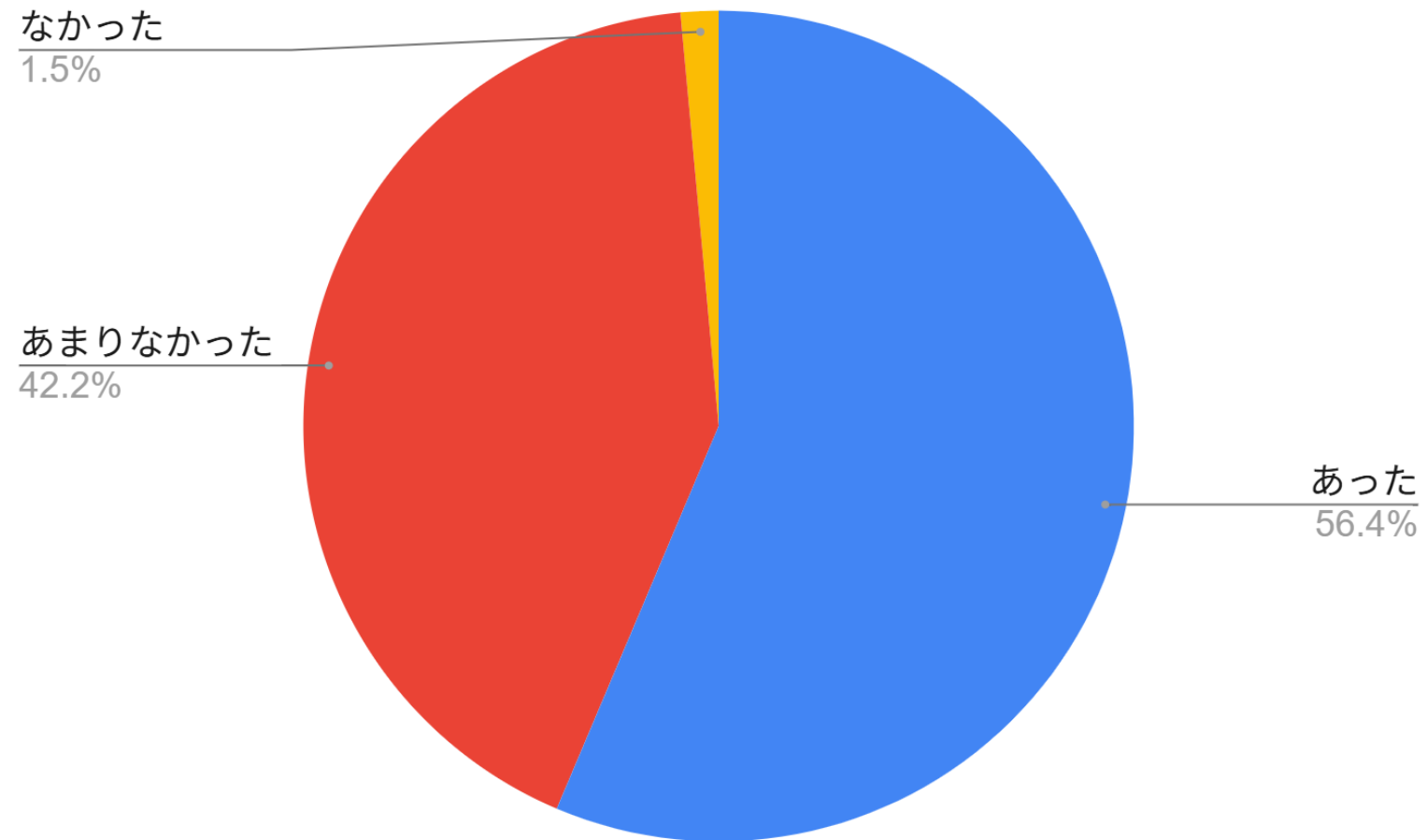


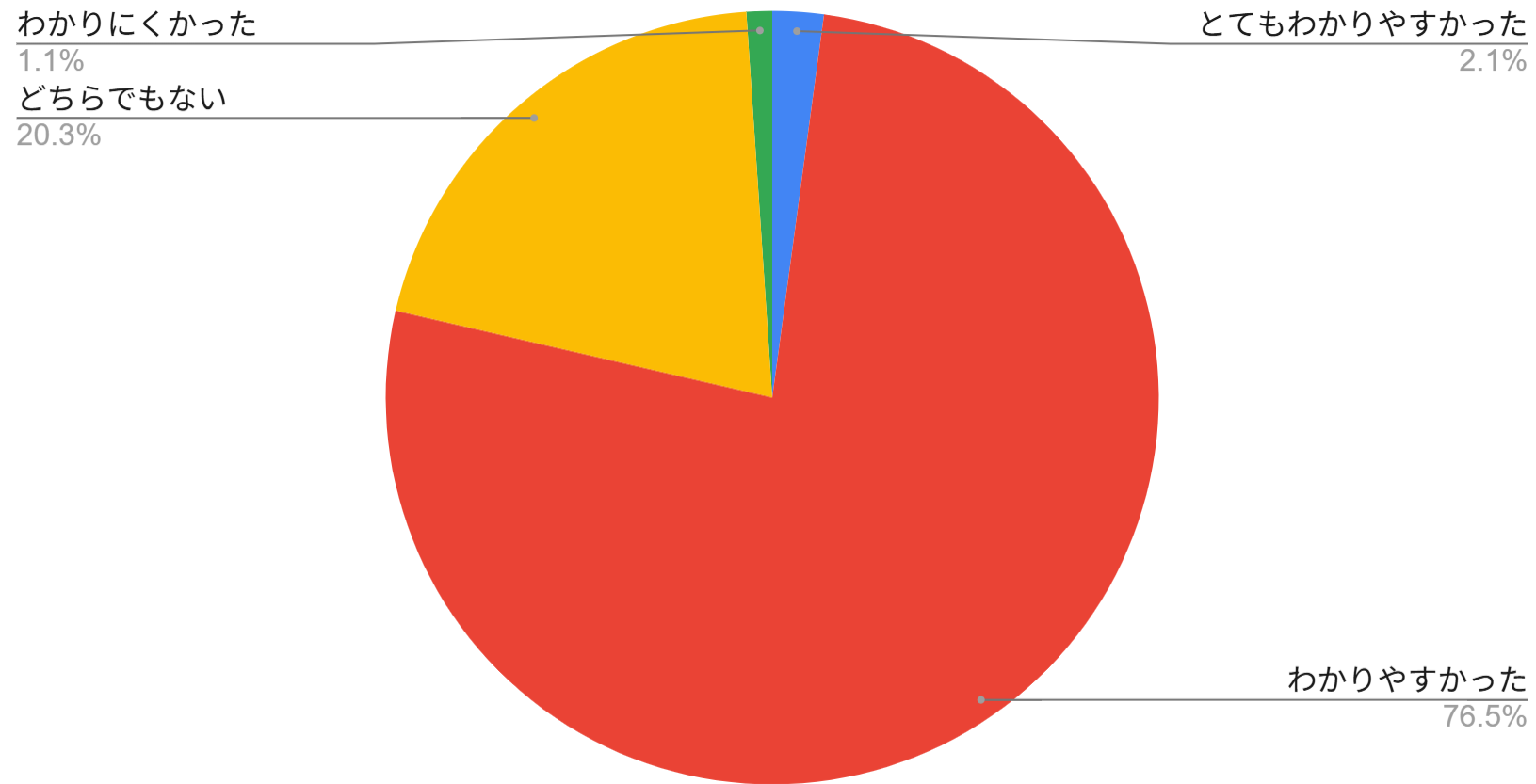
2024はまっ子防災プロジェクト アンケート結果

保護者

1.今までに防災について家庭内で話し合う機会がありましたか？



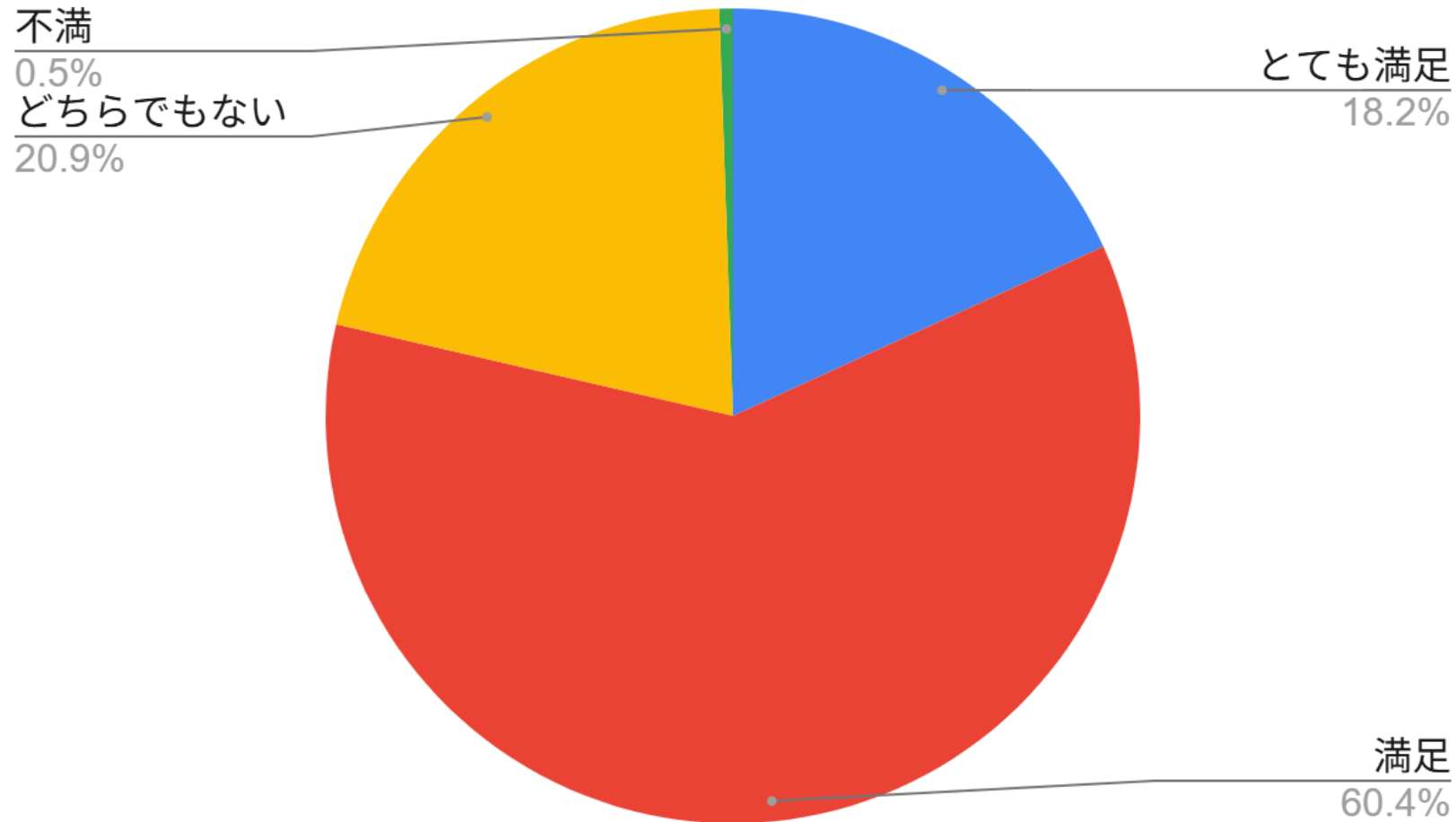
2-1.『はまっ子防災ガイド』について、内容はわかりやすかったですか？



2-2.「2-1」で回答した理由をご記入ください。

漫画、絵、写真が多く、カラーなので、子供にもわかりやすいと感じた
冊子で写真も多くわかりやすかったので。
これから準備しなければならない事がわかったから
子供でも読みやすいように、カラフルなイラストなどが多く分かりやすかった。
絵が多く、子供でも分かりやすく記載されている。
地震だけでなく水害なども書いてあり、子どもにもわかりやすい言葉で書かれていたので。
イラスト等で見やすくレイアウトされていたため
みやすくて、いざという時のことが細かく書いてあって良いなと思う。
写真が多く、内容も具体的で読みやすい。
マンガのようで子どもに親しみやすいから
地図に凡例がわかりやすく記載してあった
イラストがあって、わかりやすかった
横浜の防災に関する企業の情報などあり見やすかった。
図や写真でわかりやすい説明があった
マイタイムラインを作るページが役に立ちそうと思いました。
ネットで学ぶことが多いので、冊子で確認することができ、目につく場所に置いておこうと思った。
子どもが興味を持って読めるようなイラストや文章で、とても読みやすく、また場所別の備えがわかりやすかった
イラストが多くて実感がわく
文字だけでなくイラストとで説明したあるので、分かりやすかった。
イラスト入りで具体例が記されていてわかりやすかった
基本的な情報のみ。新たに知って得する情報なし。普通。
図や写真入りで分かりやすい
大人には適量だか、子供には見開き1枚に対して少し情報量が多い気がする

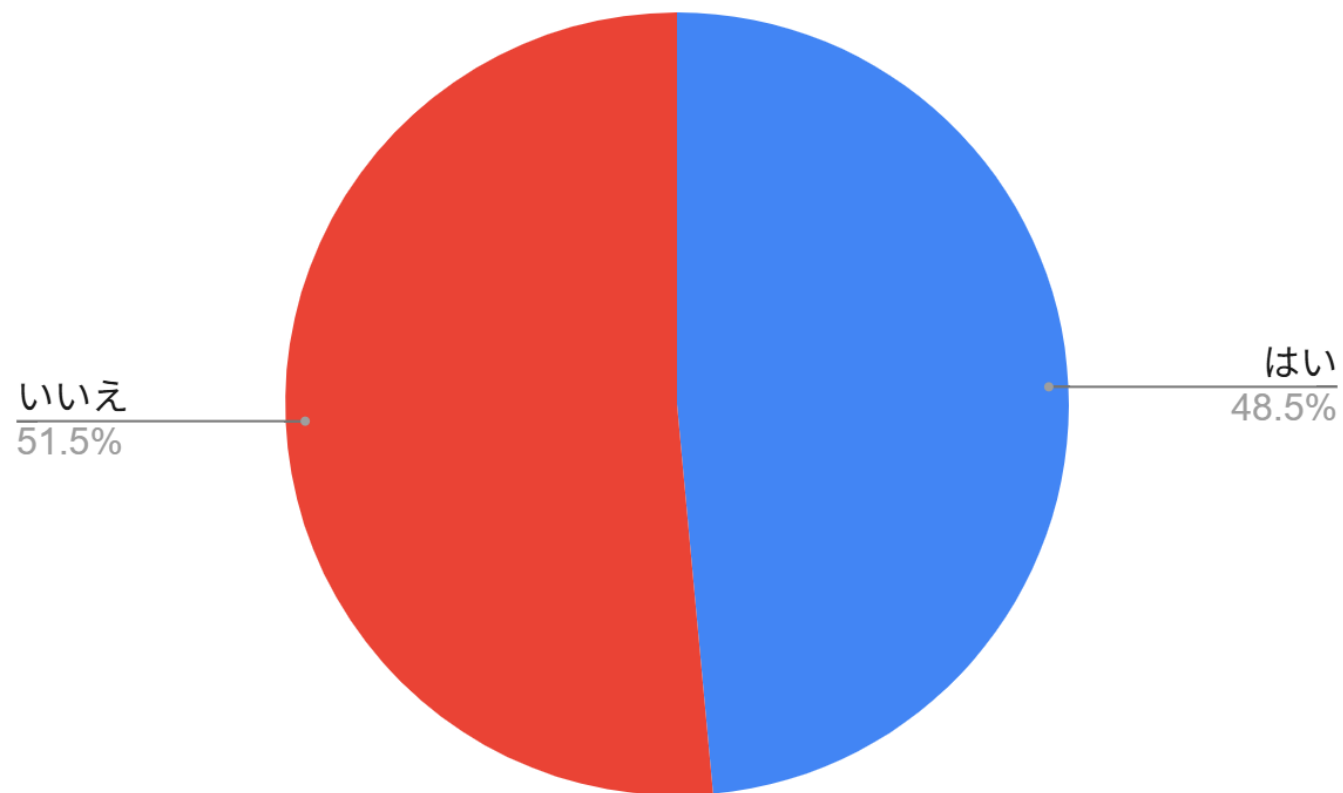
3-1.『はまっ子防災プロジェクト』のアイテムについて、子どもが学ぶ教材として満足ですか？



3-2. 「3-1」で回答した理由をご記入ください。

生理現象は抑えられないものだから、トイレパックは災害前に経験しておく必要があると思っていたから
紹介プロモーションがわかりやすかった
地図がわかりやすかった
子供が疑問見るか
意識が高まり知識が増えた
親も防災について詳しく理解できていなかったのも、親子で話し合う良い機会になった
マップなど震災時に必要な物をもらった事で、より防災意識が高まると思う
写真や絵が多く分かりやすい
一緒に読んだ時に反応が良かった
どんなじゅんぴをすればいいかがわかりやすかったから。
子供たちが防災について学びやすいアイテムだと思います。
子どもにも分かりやすそうだったから
絵でイメージできて、覚えやすい
ちょうど非常持ち出し袋以外に別の持ち出し用の箱があった方が良かったため。
子どもが興味を示していたので
簡易トイレや地図がよかったから。
要点が見やすいため
写真や絵が豊富でイメージしやすいから。
箱など無駄が多い、簡易トイレなど普段見かけない防災アイテムの配布はよかった
子供にも大人にもわかりやすい
子供にもわかりやすかった
消火器の使い方、AEDの使い方など体験もあるとよいかと
災害を身近に感じて欲しいから
難しい内容や詳しい情報も、写真や表などがとても分かり易くて子供達が学ぶにはとても良いと思ったから。
子供達に災害時について話すきっかけになったから

4-1.『はまっ子防災プロジェクト』での防災学習後、お子様に良い変化はありましたか？



4-2.「4-1」で「はい」と答えた方のみ、理由をご記入ください。

最近台風や地震続きで防災意識が高まっていたところだったこともあり、避難用の備蓄を聞かれました。

自宅の備蓄品などに興味を持った

自分から備蓄品を揃えたい、と言った。

備えをどこに準備しておくかなど、家族に提案をしてくれた

足元まで物が散乱していた部屋を片付け始めた

子どもは何も話しません。A4のこの紙を一枚無言で渡されただけなので。

「備蓄品はそれだけで良いの？」と防災に対しての意見を伝えてくれたから。

携帯トイレなど、興味を持って説明してくれたから

災害が起きたときにどうすればいいのか考えていた

我が家の火災報知器の点検をしてくれた。

わかりやすかった

家族で話し合おうと言われた

防災に関する意識が高まった。

防災について話すきっかけになったから

災害について、興味をもつようになった。

トイレパックの保有チェックを一緒にしたから

避難所を確認しました

特に地震発生時の対応に学習できた。

防災についての意識が増した

家で保管している防災グッズの再点検した方がいいと言われました。意識が高まったと思う。

家の家具について興味を持つようになった

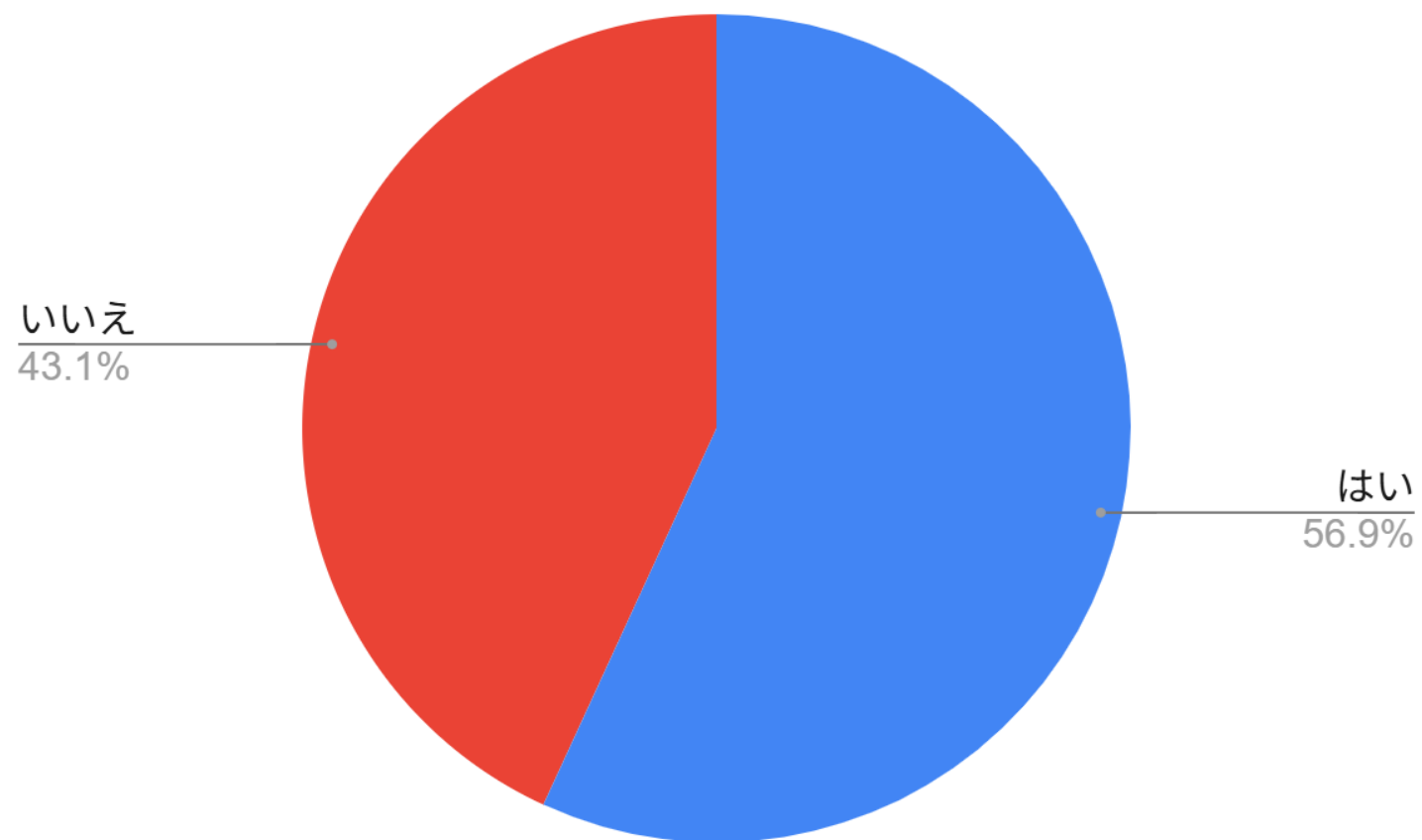
備蓄はどのくらいあるのか、家具の転倒防止対策はどうしているか関心を持って聞いてきたので、親子で確認しました。

家庭で再度防災について話したから。

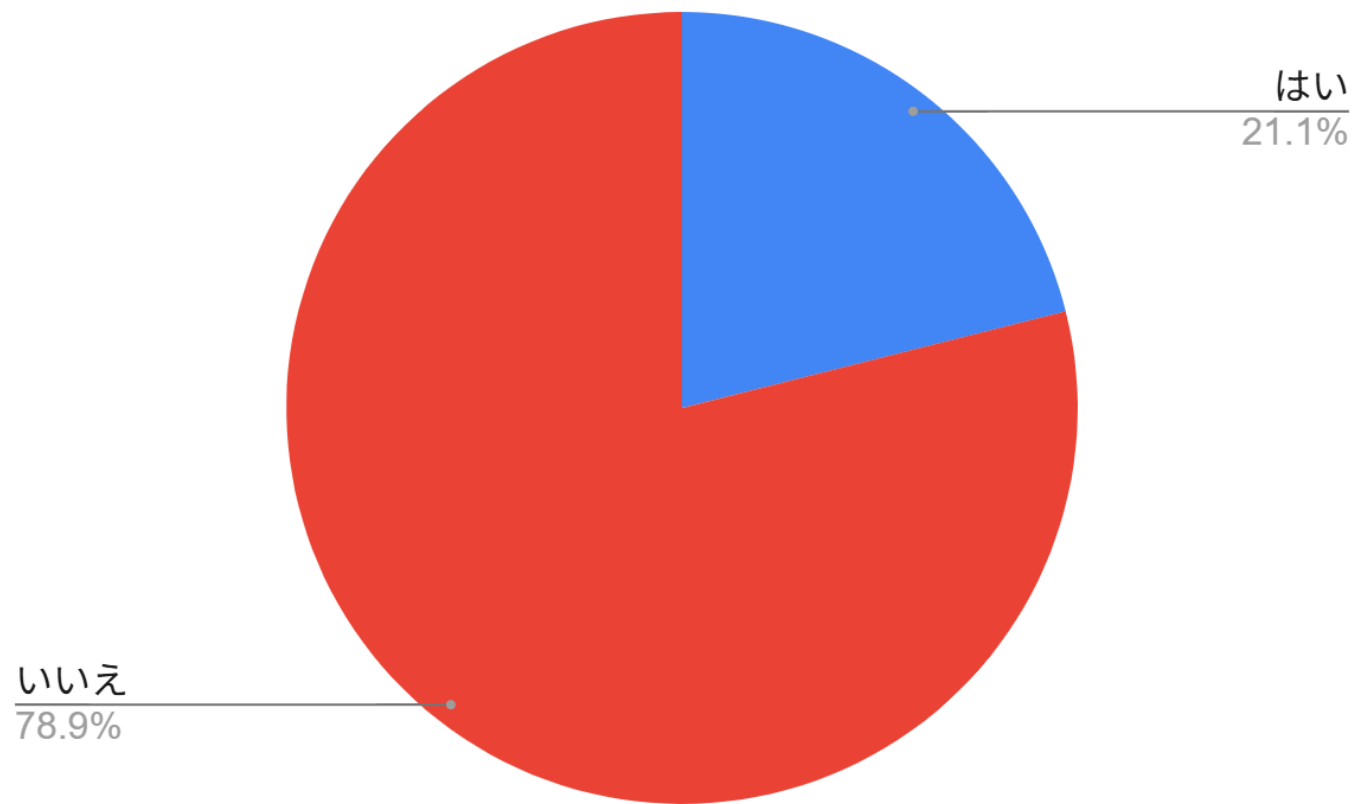
防災グッズに特に興味が湧いてるようで、揃えるものについて家族で考えるようになった

家の防災バッグを確認、整理していた

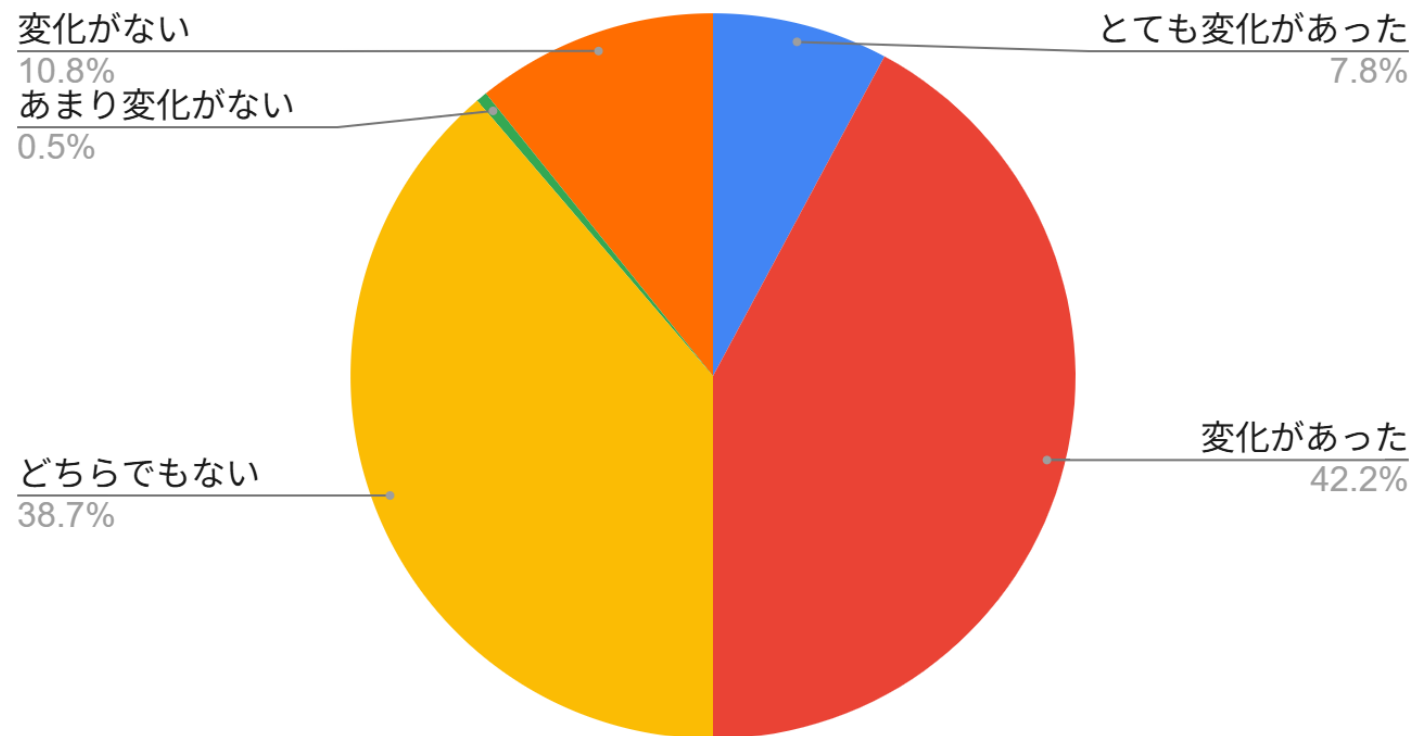
5.お子さまから『はまっ子防災プロジェクト』の学習内容がご自宅で共有されましたか？



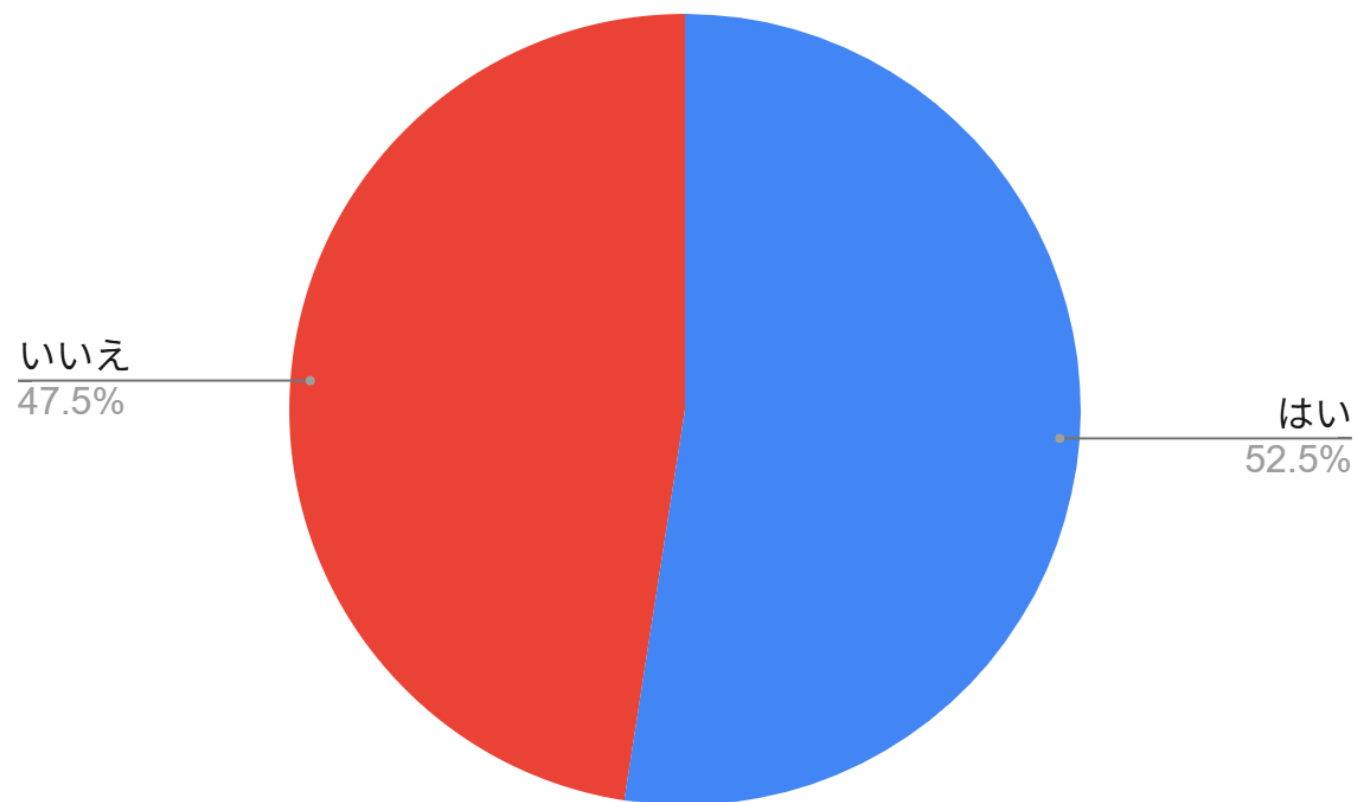
6.『はまっ子防災ガイド』p.40の「家族防災会議チェック表」を記入しましたか？



7.『はまっ子防災プロジェクト』の防災学習を通して、家庭内での防災意識に変化はありましたか？



8-1.『はまっ子防災プロジェクト』の学習後、防災について家庭内で何か取り組みましたか？ または、取り組む予定はありますか？



8-2.「8-1」で「はい」と答えた方のみ、取り組んだ内容、または取り組む内容を教えてください。

防災リュックの見直し、パーソナルカードの見直し

災害時について確認した

災害が起きたらどうするかを再確認すること、家のどこに防災道具があるかを家族に共有したい

避難場所や連絡方法、防災バックの見直しをしようと思います

家族は備蓄品があることは知っているが、もっと内容や保管場所などについて共有していきたい

今までの備蓄品の、賞味期限など再チェックをした。

棚やテレビの転倒防止

避難バッグの見直しと、防災ボックスに必要なものを入れるのと、ハザードマップを貼ろうと思います。

避難場所の確認

備蓄品を増やす

防災リュック、備蓄品の見直しを検討している。

必要な備蓄を話し合っ、玄関横に置いておくスペースを用意しようと決めたので、このあとリストを作成する予定

期限の近い水の備蓄を入れ替えた

備蓄品の確認を行うことや、家族みんなで同じ避難場所に集合できるように、確認しておくこと。

家にある防災グッズをまとめておこうという話になったから

いつ何が起ころかわからないので、日々家族で共有できる事、防災グッズの見直しをしたい。

季節ごとに持ち出す物品を変えたいのでそれを娘に考えさせたい

地震について、学習する予定です。

学校、自宅、外出時の避難場所の話し合いができた

その日の家族のスケジュールの共有など意識的にする。

家族が揃った時に、防災会議チェックを記入する

非常食のチェックをする予定です

消化器の使い方の確認、賞味期限が間近の備蓄食品があったので、買いなおしました。

避難先や避難経路の確認と共有をはかった

非常持ち出し靴の中身を確認した

災害用トイレ補充、ライフラインがすぐに復活しないため、身近に最低限必要な物の確保などを考えています

9.『はまっ子防災ガイド』"企業・団体の防災技術が守る私たちの未来"ページ"（p.44～）について、ご意見をお聞かせください。

販売箇所などを示してほしい

役に立つ内容が多かったのでこういう情報ならもっとPRしていいと思う。企業のイメージ向上にもなる。

色んな企業が色んな対策されてるんだなーと実感しました。

皆さんのお陰で少しでも安心することが出来ます。

横浜市の為に、沢山のパートナーシップ企業が賛同している事を知りました。

トリアージの色の意味を知ることが出来て、もしもの時の対応にも差が出ると思いました。

防災はどの立場でも重要な課題なんだと感じました。

安易に災害時のために〇〇あります！と明言されてないことが良いと思います

防災対策と防災計画を家族で共有できた

薬などいつも飲んでいいるものがある人は、少し余分に薬をもらっておき、災害に備えて置けるといいと思いました。

トリアージは、防災に限らず、誰もが知るべき知識かと思うので、大体の色分けは瞬時に言えるように、こどもも大人も学ぶ必要があると思います。

オール電化住宅なので災害時による停電時の電源としての電気自動車活躍するとの事でとても興味を待ちました。

災害が置きてから備えていると言う人が多いと思った

市内でこんなにも万が一のことを考えていたのかと驚きだった

横浜市薬剤師会のおくすり手帳の携帯について必要なことだと感じます

多くの官民機関が防災の取り組みをしていることに驚きつつも、知っている内容もあり、これから参考にしたいと思った。

色々な企業、団体の取り組みがわかってよかった

企業の取り組みがかわった

自治体だけでは不十分なため、企業と協力して災害に対して取り組んで欲しい

各企業の取り組みが分かりやすかった。ウォーターサーバを非常用にする事は会社でも取り組んでおり、再確認にもなった。

様々な企業が防災やSDGsについての取り組みを行っていることを知れてよかった。

こんなにも沢山の企業が様々な取り組み活動して下さっていることを知りました。

ライオンのオーラルケアは参考になる

旭化成で家を建てたいと思いました

10.その他『はまっ子防災プロジェクト』に関してのご意見をお聞かせください。

我が家は川崎市にとっても近いのでその情報もあると助かります。

子ども→家族への情報共有を期待されても、学校・部活・塾で忙しい思春期男子が積極的に話すと思えません。

防災BOX箱に入る形のカンパン

災害が増えている昨今にこのような学習をしていただけることはとても良いと思う

1月1日の能登の地震で被災しました。最初に揺れた時に、すぐにおさまらなうと家の中にとどまりました。幸い建物は鉄筋コンクリートだったために倒壊はまぬがれましたが大きな地震が起こる時、揺れ始めて7.8秒で大きな揺れになると聞いたところがあります。揺れたなと思った最初の7秒の行動が大事だと記載があるとより命を守るポーズ、行動へつながるのではないのでしょうか。

p35の行政の役割のイラストでなぜ「消防」ではなく「横浜市民防災センター」なのかわかりません。

避難だけではなく、特に台風や大雨は事前に準備ができるので家にあるもので土のうを作る、庭を片づけるなど手伝いをする、水路を塞ぐ落ち葉などは拾うなどコンクリートで地面が覆われているところが多い横浜ならではの出来ることかなと感じました

地震対策と備蓄に関することを学べたのでかぞくが確認できるチェックシートがあればより防災意識が向上する

中学校へ消防車や救急車に来てもらって身近に感じて欲しい

平素より、防災への取り組み、ありがとうございます。はまっ子防災ガイドは、皆様の努力が実った素晴らしい一冊だと思います。

可能であればですが、子ども達が疑問に思ったことを、防災ガイドに載せた方が、自分ごととして防災意識を少しずつ高めて行けるのかなぁと思いました。

いろいろと書いてありましたが子どもがパッと一眼で分かる漫画にして貰えたら良いと思いました。

横浜市内の避難指定場所や井戸水汲み可能な施設などの地図帳など折りたたみ式にしてガイド誌に付属させると良いかも

家族の電話番号を書く欄

富士山噴火の場合、火山灰被害についてもう少しどうなるのか知りたい。

応急手当の方法が載っていましたが、家庭防災員の講習で習うような内容を載せても良いと思います。

身近にある物でこれは使える！って物を教えてほしい

災害時のペットの取り扱いなど。簡単でも良いので書いてあると、周りの理解も得やすいと思うので。

住宅密集地なため、地震に伴う火事の時の逃げ方のガイドがほしい

防災について改めて考えたり話し合ったりするきっかけになってよかった。

11.今後の防災学習を良くするために求めることがあればご記入ください。

コロナ禍以降防災訓練がなくなってしまった？案内がなくなってしまったようで情報が得られていません。

専門家の話を聞ける、地域を巻き込んだ防災訓練や学習。住所で分けするのでは無く、実際の生活エリアでの防災を考えて欲しい。（町内の端に住んでいるので、自治会の避難先小学校は遠い。特別学区で区外の近くの小学校へ越境通学しているので、実際の生活圏と自治体がことなる。）

自宅が倒壊した場合の具体的な対処法。

東日本大震災の時、被災し、津波などの記憶が、まだ残っていて、私自身も、冊子に恐怖感がある。そのため、少しずつ子供と話し合っていければと考えています。とはいえ、災害は、いつ起こるかわからないので、通学路の安全については、話をして行きたいと思う。

この学習のためになのか、住んでいるところの地形を勉強したり、住んでいる地区ごとの生徒で集まる時間があつたようで、今後も続けて欲しいと思った。

学校が避難所となった場合の話（誰が避難所を開設するのか、開設までの時間、避難所で気をつけること、子どもたちにできること）などを伝えてほしいです。

学校でAEDの使い方や、心臓マッサージなどの訓練をして欲しい

富士山がいつ噴火してもおかしくない状況だと、ネットニュースなどで度々見かけます。

横浜市にも火山灰が積もってライフラインが止まるなども耳にします。学校で学習してほしいです。

自分たちだけではなく、地域で避難してほしいと思った。

ここ1年で災害が増えているのもっと訓練を増やしたほうが良い

スマホは鞆から出さない約束で、持たせてもいいのではと思いました。

または、生徒手帳に家族の携帯番号を書きだす。（電話番号はスマホに登録されてる為覚えていない）

AEDを使う時の注意や実践

学校も町会も避難訓練を実施しているので、より多くの地域の方にご参加いただき認知を広めたいと思います

学校主体で家族を巻き込み避難訓練があると良いと思う。地域で行うのは、参加率が低すぎる。

地震だけでなく、水の災害や火災や火山、電車に乗っている時を想定したシュミレーションなど、色々な災害に備えた訓練や取り組みもやっていただきたいです。

学校で救急訓練してほしい

防災リュックの中身に最低限必要な物

消火器、AED、救急車がくるまでにできることなど、体験型の訓練があるといいと思いました

みなとみらいで、実際に津波の恐れがあるとき、どこに逃げたらよいのか、横浜市民なのに全くわかりません。林立した高層ビルの上階にだれでも逃げさせてもらえるの

か？休日には人もたくさん訪れる観光地でもあるため、いざ津波と言うときに実際にどうしたらよいか、シンプルな手引きがほしいです。どの高層ビルに上がって良いのか、津波がまもなくやって来るときに、瞬間的に判断できるように、建物にシンプルなマークや色分け等があるとたくさんの命が助かると思います。また年に一回くらいは、み なたみらいで市民と観光客も交えた津波避難訓練イベントを開催してほしいです。よろしくお願いいたします。

南海トラフ・首都直下型地震、富士山大噴火などを想定し、個人の防災意識を高めてほしい

家族と離れている時の行動が落ち着いてできるように話し合してほしい。

富士山の噴火の場合など

じっさいのハザードマップを見て、自宅や学校、地域のことを知って欲しい

避難訓練をこれからもしっかり行って欲しい。

実践形式で、できる限りリアルに、いざというときに冷静に行動がとれるような訓練をしてほしい。

備蓄についての学習をしてほしい